

平成 24 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	長良児童センター	所管課	福祉部子ども家庭課
所在地	岐阜市長良389番地2		
指定管理者名	社会福祉法人 日本児童育成園		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	14,518,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建 ◇敷地面積:716.74㎡ ◇延床面積:515.50㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、集会室兼図書学習室、おもちゃ図書館、事務室兼静養室、駐車場		

●利用状況

		H24 上半期	H23 下半期	H23 上半期	H22 下半期	H22 上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	15,257	16,240	15,604	14,057	14,856
	移動児童館利用者数	1,539	1,746	1,337	3,007	3,102
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	37	43	42	77	66
	開館日数(単位:日)	157	152	157	151	157

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおり実施。 ②所長、児童厚生員(2名)、体育指導員(1名)。 ③児童センターのおたより「ワッハッハ ながら」・チラシの発行・配布、新聞・地域コミュニティ誌へ掲載、ポスター掲示、児童センターホームページ掲載、職員ブログ更新。 ④マニュアルに従って対応。アンケート結果は館内に掲示(公開)。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、②、④適切に実施。就労清掃の実施。利用者が気持ち良く利用できるよう清潔・安全・安心を心がけ、整理整頓に努めている。 ③廃品の再利用(リサイクル・リユース)に努め、遊びの中でエコを再考している。裏紙使用などで事務用品節約。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①、②適切に実施。センター内の清掃や修理に関して職員で対応している。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、③適切に実施。毎月の安全点検を継続。情報共有し危機管理意識を高めている。 ②利用者と一緒に避難訓練実施。地震の場合・火災の場合の避難方法を確認。職員間でも各部屋の避難場所を確認し合っている。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	平成24年6月20日～7月12日に利用者アンケート実施(無記名)。
利用者アンケートの実施結果	○児童センター情報収集場所 児童センター46%、学校・幼稚園7%、公園1%、公民館1%、保健師15%、HP9%、友人・その他21% ○幼児クラブについて 満足47%、ほぼ満足52%、やや不満1%、不満0% ○「びよちゃんタイム」(0歳児)について 満足33%、ほぼ満足61%、やや不満4%、不満2% ○「ロボッ子タイム」(1歳児)について 満足38%、ほぼ満足61%、やや不満1%、不満0% ○「スキンシップタイム」(0歳児)について 満足49%、ほぼ満足41%、やや不満5%、不満5% ○「リフレッシュ講座」(保護者)について 満足25%、ほぼ満足75%、やや不満0%、不満0% ○「なごみタイム」(保護者)について 満足18%、ほぼ満足80%、やや不満2%、不満0%
利用者からの要望・苦情と対処・改善	・要望 ⇒ 回答 飲食できるとよい ⇒ 衛生管理上、飲食スペースを設けることは難しいことを掲示で伝えた。 玩具で古いものがあるのが気になる ⇒ 玩具を見直し、古くて傷みが激しいものは片付けた。 ・その他意見 笑顔で優しく親切。来館しやすい雰囲気。子どもが先生を大好きで会うのを楽しみにしている。親しみやすい。たくさん玩具があって楽しい。洋式トイレを増やしてほしい。駐車場がもっとあるとうれしい。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど)	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	S	S	S
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	S	S	S
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		区分評価			A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など)	・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行)	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価			A	

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他の団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに対する評価	今まで《わくわく外遊び》としてきた公園への移動児童館を、より分かりやすくするため《おでかけ児童館》と名前を変えて行った。児童センターからリヤカーにおもちゃを乗せ、旗を立てて移動することで、移動中にも長良児童センター・移動児童館がPR出来るようにした。リヤカーと旗がとても目立つので、今まで児童センターを利用したことのなかった方もおでかけ児童館に参加してくれ、その後の児童館利用に繋がっている。午後の比較的来館者の少ない時間帯を使った《なごみタイム》を昨年度から行っているが、知名度が少なく参加人数が少ない現状にある。リフレッシュできるよい機会なので多くの方に参加してもらえよう、広報活動をより積極的に行う必要がある。
前回までの意見を踏まえた取組み状況	毎月2回行っている相談日では専門相談員だけでなく、0歳児親子対象のクラブ後の時間に乳児院の栄養士にも来館してもらい、気軽により専門的な相談を保護者から受け付けられるようになった。ニーズに合っているようで保護者からの相談も増加し、好評を得ている。
今後の取組み	広報活動の一つとしてはじめたブログをより充実させ、写真付きの活動報告で行事やクラブの雰囲気を知ってもらい、利用促進や利用者増に繋げることができるよう努める。毎月のおたより‘わっはっはながら’だけでなく、行事の工作見本の写真や活動の様子の写真を載せることで、より分かりやすく、参加がしやすい状況となり、宣伝効果が望める。 今年度からはじめた《おでかけ児童館》についても、児童館をより多くの方に知ってもらえるよい機会となるので、気候の良い季節に積極的に行い、参加者を増やしていきたい。

●所管課の意見

<p>児童センターのおたより配布やホームページ掲載、職員ブログ更新等の広報活動実施。</p> <p>利用者アンケートに基づき要望の多かった行事を大学生ボランティアの協力のもと新たに実施。毎月児童センターの無い地区で実施していた「わくわく外あそび」を「おでかけ児童館」と名前を変え、リヤカーとのぼり旗により宣伝効果を高めるための工夫を行った。</p> <p>法人の持つ人的資源を活用し、月2回専門相談員による相談事業を継続実施。今年度から栄養士を相談員に加え、専門性を活かし、よりきめ細やかなアドバイスを行う事ができるようになった。</p> <p>事業計画に基づく事業は計画どおり実施した。職員体制や経営状況については、問題なく運営が行われた。</p> <p>放課後児童に関し、小学校との連携が図られている。その他、月1回地域の学校、児童養護施設、幼稚園、保育所等との会議に出席するなど、地元の関係機関・団体との交流や、地域の行事に積極的に参加、支援、連携し、子育て支援を進めている。</p>

●指定管理者評価委員会の意見

事業計画書どおり適正に管理運営されており、良好と認められる。
